

地域の活動拠点のあり方を考えています！

- 渡内地区では、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「わたうち将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）からは、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。
- 第4回は令和7年（2025年）1月16日（木）に渡内公民館で開催しました。（参加者10名）

整備候補地の「メリット」「デメリット」について意見交換！

- 第4回では、これまでの内容を踏まえて整備候補地の「メリット」「デメリット」について以下の視点を基に意見交換を行いました。

◎メリット ▲デメリット（懸念事項） ※客観的な事実、状況

候補地 視点	A 公民館用地		B 小学校プール用地 (公民館、敬老の家及び児童館は機能停止)
	①公民館の改修 (敬老の家及び児童館は維持)	②敬老の家と児童館の 集約化・複合化 (敬老の家及び児童館は機能停止)	
安全性		※複数機能を有する施設となり、利用者等が増えるため、交通量が増加し危険	◎周辺道路が広い ◎子どもが安全に来館しやすい ▲利用者等が増え、小学校周辺(通学路)の交通量が増加するため、特に下校時の子どもの事故が心配
アクセス性	◎認知度が高い (なじみがある)	※認知度が高い (なじみがある)	◎子どもが徒歩で来館しやすい ◎場所がわかりやすい ◎駐車場が広がり、車で来館がしやすく、足の不自由な人でも利用しやすい ▲校区の中心ではないため、遠い所からはアクセスしづらいのではないか⇒アクセス方法(らんらんバスなど)を検討
駐車場・駐輪場の確保		※複数機能を有する施設としては駐車スペースが狭い	◎広い土地が確保できる(学校との調整必要) ▲複数機能を有する施設となり、利用者等が増え、駐車場が足りない恐れがある
災害時の対応	◎避難可能箇所が分散した状態が維持		◎新しい建物ができると防災面で良い ▲川沿いであるため、水害が不安
将来負担(コスト)の縮減		▲地主に借地料が入らなくなる(児童館)	※借地料の減(公民館・児童館)
早期実現性	◎早く完成する	※土地所有者等との調整が必要	※土地所有者等との調整が必要
その他		◎世代間の交流が生まれやすい ※駐車場用地が狭くなり、地域行事へ影響	◎世代間の交流が生まれやすい ◎イベント等の実施時に小学校校庭を一体的利用(学校との調整が必要) ※公民館用地と比較して敷地面積が広い

今後は・・・

- 引き続き、地域の合意形成を積み重ねた検討を進める
- コミュニティや各施設等の幅広い関係者へ、地域の活動拠点のあり方についての情報を提供し、意見を集約する

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526、7527
0562-38-6141、6142

Email

chiiki@city.tokai.lg.jp